

毛呂山町マスコンキャラクター
もろ丸くん

議会だより

発行/毛呂山町議会
編集/毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



9月議会定例会

議長のあいさつ、議会構成	2 P
平成23年度一般会計決算、討論	3~4 P
平成23年度特別会計決算	5 P
平成24年度補正予算、条例の改正	
常任委員会レポート、審議結果ほか	6~8 P
一般質問	8~13 P
人事・議会の動き	14 P

平成24年10月20日発行

第 **78** 号

議会だよりは議員の自主編集により発行し、この用紙は再生紙を使用しております。

9月議会 定例会

議長あいさつ



毛呂山町議会
議長
堀江 快治

例年にならない猛暑もようやく終わりを告げ、袖子も色づきはじめ秋本番となつてまいりました。皆様におかれましては、ますますご健勝にて、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

高齢者には憩いを、青少年には夢と希望を抱いてもらえるような、緑豊かな文化都市毛呂山の更なる発展を望み、議員一丸となつて、諸懸案に取り組んでまいりますので、更なるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

スポーツの秋、読書の秋、実り多きことを期待いたしまして、ご挨拶いたします。

平成24年9月定例議会は、9月3日から9月21日までの会期で開催されました。今議会の議案は、条例の一部改正1件、条例の廃止1件、補正予算5件、利益剰余金の処分1件、決算の認定6件、町道の廃止1件、町道の認定1件、人事3件、諮問2件、報告3件、合計24件が上程され慎重な審議が行われました。一般質問には10名の議員が登壇し活発な質問が展開されました。なお、人事1件については議案の取り下げがあり、撤回されました。

常任委員会構成

総務文教常任委員会

議会、総務、教育、企画政策関連、町税ほか歳入全般です。

委員長 宮寺 征二
副委員長 岡部 和雄
委員 荒木 かおる
村田 忠次郎
藤岡 健司
下田 一甫
高橋 達夫

生活福祉常任委員会

福祉全般、生活環境及び水道事業、農業、土木建設並びに各特別会計6事業です。

委員長 岡野 勉
副委員長 小峰 明雄
委員 弓田 茂樹
佐藤 秀樹
千葉 三津子
長瀬 三津子
堀江 快治

一部事務組合の構成

●坂戸地区衛生組合

村田 忠次郎
小峰 明雄

●埼玉西部環境保全組合

下田 一甫
岡野 勉

●西入間広域消防組合

堀江 快治
長瀬 衛
岡部 和雄
岡野 勉
千葉 三津子
佐藤 秀樹

●毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合

弓田 茂樹
荒木 かおる
宮寺 征二
藤岡 健司
小峰 明雄
高橋 達夫
堀江 快治

●広域静苑組合

藤岡 健司
下田 一甫
高橋 達夫
岡部 和雄

一般会計決算を認定 (賛成多数認定)

	区 分	金 額
一 般 会 計 決 算	歳 入 総 額	97億2,520万円 (前年度比4.0%減)
	歳 出 総 額	93億4,051万円 (前年度比4.7%減)
	歳入歳出差引額	3億8,469万円 (うち翌年度繰越財源1億6,813万円)
	実 質 収 支 額	2億1,655万円

翌年度繰越財源内訳：武州長瀬駅北口周辺地区整備事業、川角中学校外構改修事業など

●歳入内訳

(単位：千円)

科 目	決 算 額
町 税	37億3,027万3
地 方 譲 与 税	1億0,415万0
利 子 割 交 付 金	1,003万9
配 当 割 交 付 金	782万8
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	193万6
地 方 消 費 税 交 付 金	3億0,119万2
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	6,944万8
自 動 車 取 得 税 交 付 金	2,381万5
地 方 特 別 交 付 金	5,235万0
地 方 交 付 税	19億3,583万9
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	524万6
分 担 金 及 び 負 担 金	1億1,031万5
使 用 料 及 び 手 数 料	6,054万2
国 庫 支 出 金	9億3,085万7
県 支 出 金	6億3,616万1
財 産 収 入	1,167万9
寄 付 金	234万0
繰 入 金	2億5,256万7
繰 越 金	3億3,326万5
諸 収 入	1億9,984万2
町 債	9億4,551万5
合 計	97億2,520万3

●歳出内訳

(単位：千円)

科 目	決 算 額
議 会 費	1億1,151万9
総 務 費	14億9,575万2
民 生 費	29億6,659万7
衛 生 費	8億1,053万6
労 働 費	3,102万6
農 林 水 産 業 費	1億2,545万4
商 工 費	4,779万4
土 木 費	9億7,744万5
消 防 費	6億0,138万5
教 育 費	11億2,535万9
災 害 復 旧 費	0
公 債 費	7億6,043万6
諸 支 出 金	2億8,720万8
予 備 費	0
合 計	93億4,051万6

- 毛呂山中学校武道場
新築工事
- 川角中学校体育館耐
震補強工事
- 町道7号線道路改良
工事
- 予防接種委託
- 史跡崇徳寺跡購入

23年度主な事業

一般会計決算討論

反対します

藤岡 健司 議員

歳入の個人町民税は、2・2%の減額となり、固定資産税は、0・5%の減額となりました。町民税の減少は町民の所得が減少したことからと思われます。地方消費税交付金の減額は町民の購買力が低下しているものと思われます。そういう中で、町民の生活はどうだったのでしょうか。やはり、23年度も深刻な不況の1年だったのではないかと、各課にパソコンが導入され、仕事の効率が図られたと思われる。しかし、職員の健康面が心配されます。また、格差が広がり年収200万円の人が、1000万人を超え大変な状況になっ

ています。税金の納税も大変な状況になっているのではないかと。そういう中で、税金の徴収の方法もまた、変化が求められねばならなかったのではないかと。きめ

細かな、納税相談や、滞納者は生活が困窮していると思われるから、個々の生活も福祉課などと関係をとったりして、納税相談にあたって頂きたいと思えます。武州長瀬駅自由通路及び橋上駅舎整備工事の施工については、町民の理解が得られていないのではないかと。あまりにも、町の財政に占める割合が大き過ぎると思えます。税金の使い方もより一層、考えなければなりません。

岡野 勉 議員

私は、平成23年度一般会計当初予算に賛成しました。理由は「個人町民税が大幅

に減額したにも拘らず住民^{かわ}要望を取り入れた予算であり、安心・安全な町づくりを目指している」旨を評価しました。

具体的には「学校の耐震化、新保育所の設計費の計上、生活道路の充実、特定健診受診率の向上」が上げられます。

しかし、今年の1月、2月^{とっしよ}突如、町当局から「若草保育園の廃園」が議員、保護者、町民に通告されました。確か「存続は付帯決議まで」した訳で「廃園は、子育て支援に逆行する」ものであり、子ども・保護者に与える負担の増加、地域に与えるダメージは計り知れませぬ。

また、本町では臨時職員^かの割合が高くなり、保育職場では7割が非正規です。これは即ノ民間職場にも悪影響を与えかねず「官製ワーキングプア、貧困の連鎖、少子化、非婚」が懸念されます。

結論として何より重要な「住民との協働」でスタートした町づくりが「本質的に変わってしまった決算（町民の民意が反映していない）」であり、反対とします。



賛成します

宮寺 征二 議員

平成23年度一般会計歳入歳出決算は、厳しい財政状況の中で、各種行財政改革に全力で取り組んでおり、住民サービスの向上に努めた決算と認められます。特に、前年度に比較して歳入が減少しているにもかかわらず、費用対効果の観点から武州長瀬駅北口周辺地区整備事業や2年間の継続事業でありました庁舎耐震補

強事業、そして毛呂山中学校武道場新築事業等、適正に各種事業を実施している点は評価できることであります。また、歳入不足を補うための町債の借入についても、適債事業を精査し、後年度に交付税措置のある有利な起債の選択に努力したことがみられ、適切に対応していることが認められます。更に、各種財政指標から判断しても、実質公債費比率については7・2と対前年度比で0・9ポイント減少し、将来負担比率についても70・7と対前年度比で8・0ポイント減少しております。このことは、町として住民サービスの向上に努めるとともに、財政の健全化に向けて努力していることが認められるものであります。

今後も健全財政を堅持しながら、町の更なる発展を期待して、平成23年度一般会計歳入歳出決算に対する賛成討論といたします。

平成23年度

特別会計 決算

国民健康保険

被保険者数 1万1334人
 医療の給付 1人当り費用額 30万6260円
 一般・30万6260円
 退職・31万1972円
 国民健康保険は、医療保険制度の基盤的役割を果たしており、毛呂山町においては全体の31・4%が加入しております。

(賛成多数可決)

農業集落排水

農村地域における生活環境の整備と河川や用排水路などの水環境の保全を目的とした「毛呂山町農業集落排水施設設備基本構想」に基づき事業の推進を図っております。

(全員賛成可決)

介護保険

被保険者数 8676人
 要介護認定者数 1057人
 介護保険制度創設から12年が経過し、制度の周知が図られたことと年々増加する高齢者に伴い、要介護認定者及びサービス利用者とは年々増加している。町では、被保険者の資格管理、保険料の賦課徴収、要介護認定及び保険給付の事務を行いました。

(賛成多数可決)

後期高齢者医療

被保険者数 3505人
 1人当り年間保険料 5万4804円
 後期高齢者医療特別会計においては、保険料の徴収、保険証の引き渡し、各種申請・届出の受付等の事務を行いました。

(賛成多数可決)

水道事業

給水人口 3万5970人
 給水戸数 1万5716戸
 事業収支では、前年度に比較して1821万円の減であり主には水道料金3300万円の減少が大きく、加入金なども減少しました。

(賛成多数可決)

平成23年度毛呂山町水道事業会計未処分利益
 剰余金の処分

水道事業会計の未処分利益剰余金6729万円は減債積立金に500万円、建設改良積立金に3000万円を積み立て、残りを繰越しました。今回から未処分利益剰余金については国の法律改正により議決案件になりました。

(賛成多数可決)

特別会計決算額

単位 (千円)

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
国民健康保険	45億4,652万8	42億2,113万1	3億2,539万7
農業集落排水事業	2,884万9	2,341万4	543万5
介護保険	16億4,216万5	15億9,993万6	4,222万9
後期高齢者医療	2億5,671万6	2億5,156万5	515万1
水道事業	事業収益	事業費用	純利益
	7億3,266万8	7億0,439万4	1,660万0
	資本的収入	資本的支出	不足額 (補填財源)
	1,093万5	3億6,628万8	3億5,535万3

平成24年度

補正予算

一般会計(第一号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ10億775万円を追加し、予算総額を103億7275万円としました。

主な内容は

歳入の部

地方交付税1億2504万円

繰入金4億369万円

諸収入3億289万円

歳出の部

総務費1億9000万円

諸支出金7億1315万円

民生費5627万円

以上が主な内容です。

(賛成多数可決)

国民健康保険

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億9659万円追加し、予算総額を46億8180万円としました。

主な内容は、今後の医療



太陽光発電の補助金が追加されました

費増加に備えるため予備費として1億6906万円を追加しました。

(全員賛成可決)

農業集落排水

歳入歳出予算の総額にそれぞれ93万円を追加し、予算総額を2881万円としました。

(全員賛成可決)

介護保険

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4540万円追加し、予算総額を18億4852万円としました。

主な内容は平成23年度介護給付費負担金及び地域支援事業に係る国庫支出金、県支出金ならびに支払基金



防犯灯やカーブミラーの設置場所の地図が電子化されます

交付金の償還に充てるためです。

(全員賛成可決)

後期高齢者医療

歳入歳出予算の総額からそれぞれ153万円を減額し、予算総額を2億8647万円としました。

(全員賛成可決)

条例の改正

○土地開発基金条例の一部を改正する条例

(全員賛成可決)

○毛呂山町学校建築基金の設置、管理及び処分に関する条例等を廃止する条例

(全員賛成可決)

常任委員会レポート

《生活福祉常任委員会》

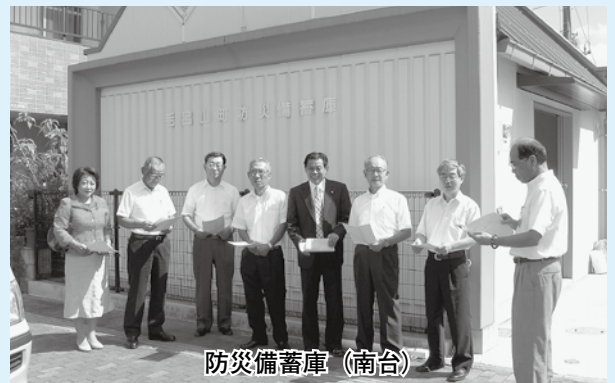
平成23年度一般会計決算認定のうち、歳出の部、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、災害復旧費、および平成23年度特別会計決算認定（国民健康保険、水道事業会計未処分利益剰余金の処分、水道事業、農業集落排水事業、介護保険、後期高齢者医療）について審査を行いました。なお審査にあたり議案に関する現地視察を行いました。



町道7号線（川角小学校前）

《総務文教常任委員会》

平成23年度一般会計決算認定のうち、歳入の部全部および歳出の部、議会費、総務費、消費税、教育費、公債費、諸支出金、予備費について審査を行いました。なお、審査にあたり議案に関する現地視察を行いました。



防災備蓄庫（南台）

●議案の審議結果（9月定例会）

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 議は議長

議案	議員名（期数順）	弓田茂樹	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田安太郎	宮寺征一	藤岡健司	下田一甫	岡野勉	小峰明雄	高橋達夫	長瀬衛	岡部和雄	堀江快治	審議結果	
40	土地開発基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
41	毛呂山町学校建築基金の設置、管理及び処分に関する条例等を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
42	平成24年度毛呂山町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	×	討	○	○	○	○	○	○	議	可決
43	平成24年度毛呂山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
44	平成24年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
45	平成24年度毛呂山町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
46	平成24年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
47	平成23年度毛呂山町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	討	×	討	○	○	○	○	○	議	認定
48	平成23年度毛呂山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
49	平成23年度毛呂山町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
50	平成23年度毛呂山町水道事業決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
51	平成23年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
52	平成23年度毛呂山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
53	平成23年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
54	町道の路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
55	町道の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
56	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
57	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
58	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	撤回

いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

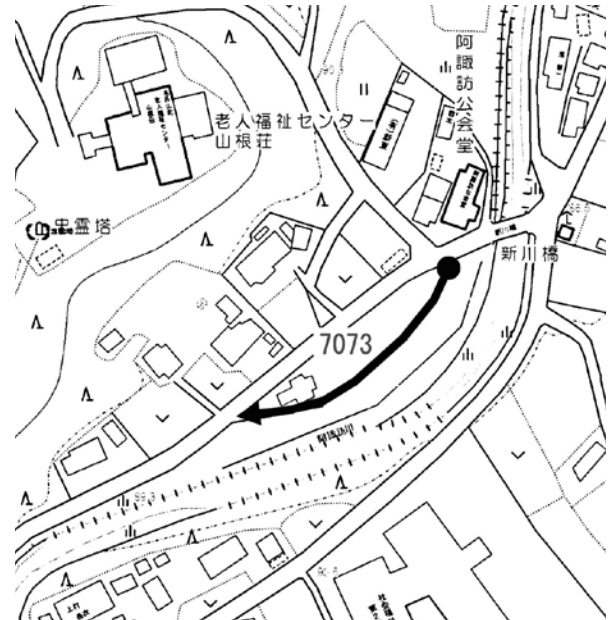
質問議員と質問事項

- 小峰明雄議員** ①高齢者支え合い
②教育・子育て環境の充実
③附属機関の在り方
④福祉避難所の設置
- 千葉三津子議員** ①高齢者支援及び介護保険
②通学路
③学校の空調設備
- 村田忠次郎議員** ①産業の振興
②子育て環境の整備充実
- 佐藤秀樹議員** ①第四次毛呂山町総合振興計画に対する考え方
②毛呂山町が考える再生エネルギー
③もろバス運用に対する今後の対策
- 荒木かおる議員** ①いじめ問題
②防災
③歯の健康
④電動アシスト自転車の貸し出し
- 下田一甫議員** ①閉鎖された総合公園プールの今後
- 藤岡健司議員** ①観光
②国保
③住宅用火災警報器
- 弓田茂樹議員** ①道路通行安全対策
②道路整備事業
③旧日本ホーバス株式会社跡地
④川角駅周辺整備
- 岡野 勉議員** ①子育て支援：保育行政の充実
②町内の緑化
- 長瀬 衛議員** ①川角駅周辺整備
②緊急災害時への対応

※内容については、各人の原稿をもとに、質問順で掲載いたしました。質問順は抽選により決定されます。

町道の廃止

路線番号 町道 第7073号
阿諏訪地内の町道が廃止となりました。
(全員賛成可決)



町道の認定

路線番号 町道 第2224号
西戸地内の町道が新たに認定されました。
(全員賛成可決)





「地域防災計画」の見直しと併せて「福祉避難所」を指定

福祉避難所の設置時期は

平成25年度早々を予定

小峰 明雄 議員

問 現在、高齢者困りごとと援助サービス事業を社協が実施。住民同士が支え合う「共助」の社会づくり、町長のご見解は。

答 共助は重要と認識し、地域見守りネットワーク実施要綱に基づき進める。

問 現在、高齢者困りごとと援助サービス事業を社協が実施。住民同士が支え合う「共助」の社会づくり、町長のご見解は。

答 共助は重要と認識し、地域見守りネットワーク実施要綱に基づき進める。

今後の高齢者支援と介護予防施策は

継続して健康づくりのための事業を展開

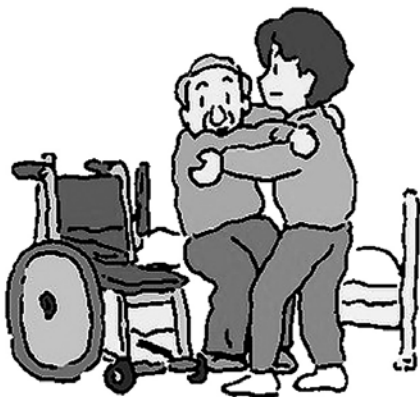
千葉 三津子 議員

問 高齢者の誰もが住み慣れた家庭や地域で安心して心豊かに過ごせる地域社会を願っています。町の高齢者支援はどのようになっているのか、介護が必要な状態にならないような健康づくりのための施策は。

答 高齢者の誰もが住み慣れた家庭や地域で安心して心豊かに過ごせる地域社会を願っています。町の高齢者支援はどのようになっているのか、介護が必要な状態にならないような健康づくりのための施策は。

問 現在、高齢者困りごとと援助サービス事業を社協が実施。住民同士が支え合う「共助」の社会づくり、町長のご見解は。

答 共助は重要と認識し、地域見守りネットワーク実施要綱に基づき進める。



高齢者にやさしい町づくりを



いつも満車のあしがくぼ道の駅

町の活性化を道の駅の設置で

時期を見極めていきたい

村田 忠次郎 議員

問 産業の振興について地域の活性化を目指し「道の駅」の設置を提案いたします。町の考えを伺います。

答 8月に毛呂山・越生両町関係各課が集まり、県主催の「道の駅勉強会」

を開催しました。県から両町に対し「町の考えを整理しては…」というアドバイスがありました。道の駅は大きな財政負担の可能性があるので、多方面から慎重に研究します。

問 道の駅構想は町の活性化や町の閉塞感払拭にも大事。町長

のお考えを伺います。

答 地元県議とも相談し、農・商工会等の意見を貰い、時期を見極めて行きたい。農業関係は十分に進むと確信しています。

問 町の特産品の商品化に向け町の支援が必要と思います。考えを伺います。

答 農業関係団体や企業が商品化して、町の活性化やPRに努めて頂いております。町では地域農業を考える「農産加工セミナー」を開催します。また、園芸特産品協議会に補助金を出しています。

問 子育て環境の整備充実について岩井学童保育所の環境を改善すべきと思います。町の考えを伺います。

答 定員60人の施設に92人在籍し、遊具設置場所も無い状況。環境改善の必要性が課題となると思われれます。

問 定員を超えた状態で放置すべきではない。改善要望をいただく前に関係課は協議すべきである。学校教育課との協議はありましたか？

答 放課後の遊び等について学校教育課とも協議しました。

意見 早急な対策を期待します。

もろバス運用の見直しを!!

地域公共交通協議会を設立し協議致します

佐藤 秀樹 議員

第四次毛呂山町総合振興計画
第四次毛呂山町総合振興計画は昨年の震災前に策定されたものであり、予期せぬ震災は想定されていない。優先順位等、内容の変更が必要ではないのか。

答 第四次毛呂山町総合振興計画の後期基本計画は、平成23年

度から27年度までの5年間であるため、平成27年度までの見直しは考えておりません。

問 本年6月の県議会における一般質問で地元県議が「道の駅構想」を質問し、「町長等の要望があれば検討します。」との事でしたが、毛呂山の元気を取

り戻す為に「道の駅をつくりたい」となった時、計画を見直さなければならぬのでは。

答 道の駅をつくるという事は、町の活性化の面でも財政的な面でもいろいろな問題を抱える事になるので、今後慎重に調査研究してまいります。

再生エネルギー
問 毛呂山町として今後の再生エネルギー問題をどのように取り組んでいくのか。

答 今後も補助制度を継続してまいります。

もろバス運用の今後
問 助成金が昨年度で終了し、

町の財源にて運用を行っており、今後見直しが必要だ。

答 今年度中に地域公共交通協議会を設立し、協議致します。

問 バス停から近い方、遠い方すべてが町民であり、町民の公平を考え今後の対策をどの様に考えているか。

答 受益者負担の考えを取り入れるべきとの声もあり、財源の点についても議員からいろいろの質問を頂いております。今後、デマンド方式等、どの様に取り組んでいくのか検討致します。



毛呂山町の「足」もろバス



いじめの兆候に早期対応を！

いじめ問題 兆候を見逃さず早急な対応を！

問題があった場合には 隠さず解決に努める

荒木 かおる 議員

いじめ問題

問 いじめを早期発見するためにどのような取り組みをされていますか。

答 登校時の挨拶や担任による健康観察、個人ノートを利用し、心の変化の観察、授業での観察等、

わずかな変化をキャッチし、指導出来るよう確認しています。日頃からいじめを許さない学校づくりに努めると共に、いじめの兆候をいち早く把握して迅速に対応し、いじめの問題が生じた時はその問題を隠さず、学校・地域と連携して適切に対

月で財産処分が出来ない期間が切れるので今後の利用等について検討する。
問 関係法令により管理棟は処分が出来る期間が5年になっている。未だ20年あるが今後どうしようと考えているのか。
答 現在、管理棟は機械警備により防犯上の管理をしている。今後プールと一体の施設であり関係機関とも十分協議し検討してまいりたい。

応し、問題の解決に努めて参りたいと考えております。

消防バイクの導入

問 住宅密集地・山間部における災害において倒壊建物、道路の陥没などで交通網が寸断され車両が走行できない状況下でも初期消火や情報収集に優れた機動力を発揮する消防バイクの導入を提案しますが、ご見解をお伺い致します。

答 住宅密集地が点在し、4割が山林である本町において、災害現場の情報収集や初期消火に小回りの利く消防バイクは大変有効と考えます。西入間消防組

合、また関係機関と協議し、導入に向け検討して参ります。

歯科衛生士の配置

問 本町の小・中学生、特に中学生に虫歯が多く、さらに治療が進んでいない状況です。県では「健康づくりのための取り組み重点項目」として、全市町村へ歯科衛生士配置の推進をしていますが、本町において歯科衛生士の配置についてのお考えはいかがでしょうか。

答 現在は県から委託の歯科衛生士の派遣を受けている。今後については配置の効果を確認し、十分検討させて頂きたい。

閉鎖された 総合公園プールの今後

蓮栽培を観光事業として進める

下田 一甫 議員

総合公園プールは昭和58年にオープンし多くの利用者で賑わうと共に地域の観光にも大きく貢献してきたが平成18年に23年間続いた施設が閉鎖されすでに6年が経過、その後廃墟状態が続いている。プールの再開を含め今後の対策を考えるべき。

問 プールは「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」により財産の処分が出来ない期間が30年と定められているがその後の対策はどうするのか。

答 プールの再開は考えていない。現在一部のプールで花蓮の試験栽培を行っている。来年7

月で財産処分が出来ない期間が切れるので今後の利用等について検討する。

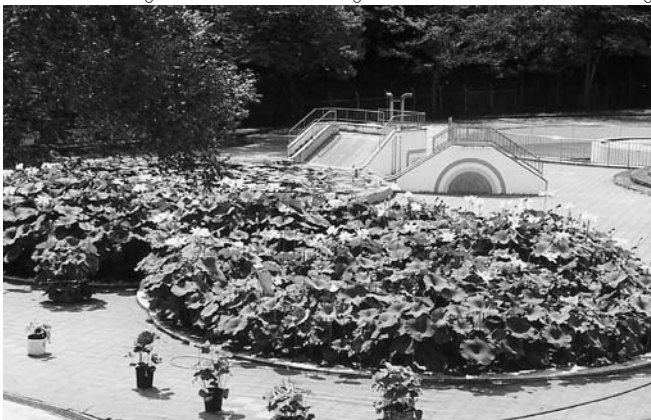
問 関係法令により管理棟は処分が出来る期間が5年になっている。未だ20年あるが今後どうしようと考えているのか。

答 プールは廃止して6年が経

過し老朽化が進行している。このような状況下、子供プールで蓮の試験栽培を始めた。地元等の蓮栽培に精通した関係者等の協力を得て試験栽培を行っているが今後は観光資源の一助とすべく一層の研究と努力をする。

問 スライダープールの腐蝕が進み景観的にも見苦しいが撤去は。

答 補助金の関係があり、関係機関と協議し対処する。
問 蓮栽培の担当課は。
答 観光事業の一環と捉え産業振興課で行なう。



プールを利用し蓮の試験栽培



滝ノ入口ローズガーデン

観光客数を27年度まで 80万人を目指す

集客力向上に努めたい

藤岡 健司 議員

問 22年度の観光客数は58万7300人で、27年度まで、80万人を目指せば、はつらつとした町民の生き方、観光収益の増加、人々の触れ合いの増加、町が元気になるなど、計画の方向性は町民が元

気のであるもので、抱負を伺います。

答 山紫水明と伝統文化を基軸としたおもてなしの心あふれる元気な観光毛呂山を目指し、観光資源の発掘をすべきと考えている。それぞれの観光拠点がある機能的に結びつくような観光政策

を立案することで毛呂山町への観光客の集客力向上に努めることが必要であると感じている。

問 柚子は毛呂山町の誰もが、認めるシンボルで、観光の主役の位置を占めていて、これからの柚子はどう取り組んで行くかを伺います。

答 今後は付加価値を意識した方策を関係者とともに研究していきたい。

問 出雲伊波比神社、鎌倉街道、城跡、流鏑馬、民俗資料館等の周遊など観光資源を活用してさらなる来訪者を増やす施策は。

答 複数のストーリー性を組み

合わせてコースの魅力向上を図り、観光客が楽しめる体験を含めたメニューの開発に努めたい。

国保について

問 国保の医療給付費に対する公費負担は「定率国庫負担34% ↓32%、国調整交付金9% ↓9%、都道府県調整交付金7% ↓9%」に変更しました。この影響を伺います。

答 国庫負担が2%下がると、医療費や保険税軽減者数等の増減にもよりますが、町への影響は出てくるものと思われれます。

今後の川角駅周辺整備を どのように考える!!

全力をかけて 周辺整備を進めていきたい!!

弓田 茂樹 議員

問 川角中学校東側の町道7号線が今年度完成予定であるが、自転車道の扱いはどのように考えているか。

答 計画されている歩道は、関係法令等により歩行者専用である。しかし、今後の安全対策として完成後、交通量調査を行い、

公安委員会へ規制要望の提出をしてみたい。

問 要望による生活道路整備の優先順位について、町としての考え方は？

答 毎年多くの要望とともに、未対応の箇所が数多くあります。町財政が大変厳しい状況ではあ

りませんが、整備効果や地域の課題等を十分に調査し、計画的且つ効率的な道路整備の執行に努めてまいります。

問 日本ホールバス跡地の今後は？

答 この土地は、現在も日本ホールバス名義の民有地であり、町主導で開発を進めるといふわけにはいきません。町が直接土地利用に乗り出すことはありませんが、この土地への企業誘致に全力を注いでまいります。

問 町長に川角駅周辺について問う

答 川角駅周辺整備については、長きに亘る問題が山積みであるが、町ホームページ内の『町長

公約の進捗状況』にもあるが、実現に向けての熱意をお聞かせ願う。

答 川角駅は町内4駅の中で、一番の乗降客が多い駅となっている。私自身も早くから、整備の必要性を町民の皆様を示してきた経緯がある。いままで整備実施に至るまでの合意形成がなされてこなかったが、今後しっかりとしたグラウンドデザインを示し、町に対する信頼をいただきながらしっかりと取り組んでいきたい。



川角駅周辺整備の早期実現を望む！



若草保育園の存続は町民の願い

若草・上町保育園 応急でも耐震補強対策を！

充分検討をしてみる

岡野 勉 議員

問 私はあくまでも東部地区に保育園を残すべきと思っている。出来れば若草保育園を！これは、「子ども・保護者のためでもあるし、地域のためでもある」、「地域で子どもを育てる。逆に地域も

答 子どもがいるから元気でいられる。正に子どもは地域の宝だ。その意味で「若草保育園の廃園」は東部地区には大きな打撃だ。町は若草、上町も「平等だ」と豪語しているが平山の新園舎の入所申し込み状況はどうか。

問 園児数でなく世帯数で見ると上町は1世帯退園で、34/35世帯で97%がパークフェクトで新保育園へ。それに比べ若草の場合、3割が保育園を変えた。そもそも統合と言っても西と東、土台無理！毎日のことで通いきれないから園児がバラバラになった。「子ども達が卒園まで一

緒にいたい」と新保育園に決めた方も若草なら2kmが3倍の6kmになる。車の危険も増加する。午睡(昼寝)の場所は安全か！午睡(昼寝)の場所は、3・11以降、同じ状態か(耐震対策は)。

答 ガラスが飛散しないようにガラスシールに5万円を掛けた。園舎の耐震強度は0・23から1・03で変わらない。

問 ※安全基準は0・6以上。正直、驚いている。問題は「金なのか？」私はこの間、耐震診断をした東松山市の診断業者に行ったがあらゆる手立てを考え、対策を講じてほしい。

答 今後とも充分検討していく。

川角駅周辺整備の ビジョンを示せ!!

市街化調整区域内の開発を考えている

長瀬 衛 議員

問 川角駅周辺の未整備が町の閉塞感を生み出している最大の原因である。

答 過去には区画整理、市街化編入、東部地区整備構想等の動きがあったが、地域の合意形成が得られず今に至っている。7月に意見交換会を行った。地域

や学校などのコンセンサスを得られるよう進めたい。

問 東の玄関口として良好な市街地整備の形成を図る為、都市基盤整備を推進するというのがこれまでの計画だ。マスタープランで駅周辺の課題は交差点の改善、放置自転車対策等となっ

問 「駅周辺は調整区域(農地)の為、まとまった整備ができない。町単独で道路新設を行う」の選挙公約は、既に農振除外の白地地区であり、間違っている。

答 新しい都市計画ができないという意味であり、調整区域内の開発を考えている。

問 就任直後「南口を含めて」というのではなく、兎に角、北口

問 市街化調整区域の秩序ある土地利用の検討としており川角駅へのアクセス道路整備も含まれている。

答 「駅周辺は調整区域(農地)」の為、まとまった整備ができない。町単独で道路新設を行う」の選挙公約は、既に農振除外の白地地区であり、間違っている。

答 新しい都市計画ができないという意味であり、調整区域内の開発を考えている。

問 就任直後「南口を含めて」というのではなく、兎に角、北口

題は駅の入出口を変えることであり、南北改札口等が不可欠であり、そのことで通学路課題も解決する。

答 北口で全部が解決するわけではないので全体像を作る作業を行っている。

問 緊急災害時への対応は！

答 首都直下地震に備え、全町的な連携が最大の課題だ。

答 対策本部にしっかりとした機動的な活動マニュアルを作る。



駅広場など時代に即した整備が待たれる川角駅

議会の動き

- 7月20日 第77号議会だより発行
 25日 第2回（7月）議会臨時会
 26日 } 埼玉県町村議会議長会議長県外視
 27日 } 察
 （宮城県 亘理町、山元町）
- 8月 8日 埼玉西部環境保全組合議会定例会
 9日 坂戸地区衛生組合議会定例会
 21日 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組
 合議会定例会
 22日 広域静苑組合議会定例会
 27日 議会運営委員会
- 9月 3日
) 第3回（9月）議会定例会
 21日
 3日 全員協議会
 11日 } 総務文教常任委員会、生活福祉常
 13日 } 任委員会
 14日 }
 21日 議会運営委員会
 27日 西入間広域消防組合議会定例会
- 10月12日 埼玉県町村議会議長会議員研修会
 （吉見町民会館・フレサよしみ）
 17日 広域静苑組合議会臨時会

次回定例会は12月です。

7月臨時会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
7月25日(水)	0

9月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
9月 3日(月)	0
4日(火)	19
5日(水)	26
6日(木)	16
7日(金)	0
10日(月)	1
21日(金)	0

傍聴席

表彰

毛呂山町議会
 議員経験25年以上の表彰
岡部和雄氏
 毛呂山町毛呂本郷
 昭和33年5月生



人事

◎教育委員
 （再任）
柴崎智美氏
 毛呂山町西戸
 昭和38年9月生

◎固定資産評価審査委員
 （再任）
中村芳樹氏
 毛呂山町毛呂本郷
 昭和28年7月生

全員協議会

- 【9月3日の議題】
1. 町村情報システム共同化の経過報告について
 2. 平成25年度保育所入所事務等に係る今後の計画について
- 【新保育園の名称を公募】
 ◎希望に満ちた名称になりますよう公募致します。
 ◎締め切りは10月25日(木)子ども課まで
3. 都市計画法第34条第12号に基づく区域指定の用途の見直しについて



議会だより編集委員会

あとがき

9月議会は、複雑で専門的な町の仕事について詳しく審査するために、議会本会議の他、各7名の議員で構成する常任委員会が設けられています。毛呂山町は「総務文教常任委員会」と「生活福祉常任委員会」に別れて、決算書の審査を行います。これは、各種資料に基づいてその行政効果や経済効果を測定し後年度の予算編成や行政運営の改善に役立てる重要な役割であり、今後も慎重に審議を行って参ります。

佐藤 秀樹

編集委員

委員長 藤岡 健司
 副委員長 岡野 勉
 委員 弓田 茂樹
 佐藤 秀樹
 荒木かおる
 村田忠次郎
 アドバイザー
 （議長） 堀江 快治